

## 第41回 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 確認事項

### ◆ベンチ

1. チームベンチに入ることができるのは、選手および代表者・監督・コーチ・救護員とメンバーに入れなかった同種別の団員とする。(団員はそろいのシャツを着用)
  - ・代表者・監督・コーチ・救護員は、ベンチ入りの際「IDカード」を着用すること。
  - ・監督・コーチについては、2019年度JHA登録者であること。登録証」携帯。
2. 救護員について
  - ・救護員は4名ベンチに入ることができる。
  - ・救護員は、試合毎にスターティングリストに氏名を記載することにより、試合毎に変更しても構わない。なお、ベンチ入りの際は、実行委員会発行のIDカードを着用すること。
  - ・救護員は、成人であること。

### ◆事前練習

- ・第1試合のチームは、試合開始30分前から試合開始10分前まで競技コートでの練習を認めるが、競技コートの準備や散水等には協力すること。第2試合以降の競技コートでの練習は、TOの指示に従うこと。
- ・試合開始45分前からウォームアップ会場での練習を認める(ゴールの使用はできません)。ボールを使う練習については軽いヒットまでとする。

### ◆メンバーチェック等

1. スターティングリストは、大会本部にて試合開始30分前に提出すること。
  - ・チームユニフォームの色が重ならないよう、チーム間で友好的な解決をお願いします!
  - ・スターティングリストの提出時間厳守をお願いします。提出に遅れるチームがあると、公式記録用紙等の作成が遅れ試合開始時刻が遅れてしまうことがあります!
2. メンバーチェックは、次試合テントにて試合開始15分前に実施。各チームの監督は、メンバーチェックの前に、下記の点を確認すること。
  - ・「登録証」によるメンバーチェック(個別に持参/写真添付をしておくこと) チームの第1日目1試合のみ実施
  - ・選手の健康状況(熱中症等の疑い・健康管理者の指示に従うこと。
  - ・ヘアピン、アクセサリや金属の装着不可
  - ・スティックの破損はありませんか?(リングパスは、チームの第1日目第1試合のみ実施)
    - \*穴・破片が飛び散る可能性があるものは使用を控えてもらいます!
  - ・GKのアンダーパットの装備(お子さんの将来を考え奨励しています)
  - ・熱中症等で人数がそろわない場合、早めに健康管理担当者へ連絡すること。
3. PC時に使用する「マスク」「グローブ」も、このタイミングでTOの確認を受ける。

### ◆試合開始時・終了時のセレモニー

《開始時》試合開始1分前に、

- ・「テクニカルテーブル前に整列」～「トス」～「テクニカルテーブルにあいさつ」～「コートへ散る」

《終了時》

- ・1日目……「テクニカルテーブル前の相手チームベンチ側に整列・あいさつ」  
～「ベンチにもどる時にお互いに握手」～「相手を讃えるセレモニー」へ
- ・2日目以降……「テクニカルテーブル前の相手チームベンチ側に整列・あいさつ」  
～「ベンチにもどる時にお互いに握手」～「別れ」

\*試合終了後、相手チーム、テクニカルテーブルへの挨拶は「なし」とします。

## 《決勝トーナメント男女決勝》

- ・開始時 「テクニカルテーブル」前に整列～「トス」～「入場・コート中央観客席に向かって横隊整列・あいさつ」～「握手」～「コートへ散る」
- ・終了時 「コート中央観客席に向かって横隊で整列・あいさつ」～「回れ右してベンチへあいさつ」～「握手」～「ベンチへ戻る」

### ◆競技中

#### 1. 予選リーグは前後半各10分で6分の休憩

(休憩5分でテクニカルテーブルより合図があったら速やかに準備し、フィールドへ)

2. PC時のフェイスマスクは、ゲームが途切れた時にゴール裏で置くよう指導を
3. フリーヒット時はボールをしっかりと止める。セルフで始める時はポイントの確認・ボールを止める動作をはっきり行う。ドトラックによるスタート(進入)は認めない。ただし、スクープを直接上げるとは認められる。
4. リバースプレーについては、危険か否かによる判断でジャッジする。(安全第一)  
なお、ふりかぶつてのリバースシュートは禁止とする。

### ◆ベンチワーク

- ・ベンチでの指導は、「監督」または「コーチ」のどちらか一人とする。  
\*今大会では、コーチングエリアを設けるので、立ち上がっての指導はコーチングエリアにて行うこと。  
\*コーチングエリアは、チームベンチの両端から前方の防球ネットまでの範囲とする。
- ・アンパイヤに暴言を吐いたり、セルフ判定によりゲームを混乱させる行為などは厳しく対処する。TOからのカードによりベンチから退場もあり得る。(応援席の管理をしっかりと行う)  
特に指導の必要な監督には、TDおよびスポーツ少年団部会に対応する。

### ◆SO戦(予選リーグの順位決定・フレンドリーリーグの順位決定)

- ・予選リーグの順位をSO戦で決めなければならない時は、空いているコートで実施する。実施コートについては、「試合日程」の通り。(ただし、試合の状況によりコート等の変更があります。その場合は、放送等により連絡します。)
- ・SO戦の可能性のあるチームについては、結果が確定するまで会場から帰らないこと。

### ◆選手交代の手順

- ・今大会では、選手交代用のラインを設ける。
  - 監督は、交代選手に何番の誰と交代か伝える。
  - 交代選手は、スティックを持ち交代ラインへ。
  - テクニカルテーブル前の交代ラインに立つ。
  - 交代選手の名前を呼ぶ。
  - コート内の選手が出てから、交代する選手は入る。フライング交代は厳禁。
  - なかなか交代ができない場合は、監督が交代ラインまで出向き交代を支援することができる。
  - PC中の選手交代はできない。

### ◆負傷・事故発生時の対応について

- ・負傷により手当要請をした場合、2分間はベンチで静養する。
- ・顔・頭部・心臓付近の負傷については、本人の意思に関係なく、安全確認のため一旦ベンチに下げること。
- ・GKなしのゲームは認めない。GKが負傷した場合は、控えのGKと交代すること。控えのGKがいなくてもフィールドプレーヤーが防具を着装すること。

### ◆救護室

- ・熱中症等の疑いがある場合は、日光市ホッケー場内の大会救護室をご利用ください。
- ・また、大きな事故があった場合は119番通報により救急車で搬送する。

#### ◆緊急時対応等

- ・緊急時対応ならびに今市青少年スポーツセンター使用に関して、当センター職員の指示があるときは、優先してその指示に従うこと。
- ・落雷の危険がある場合の避難所は、当センター体育館へ避難することを原則とする。その場合は、大会本部の指示に速やかに従うこと。
- ・不審者および不審物を発見した場合には、安全を確保し速やかに大会本部へ連絡し、その指示に従うこと。

#### ◆その他

- 大会期間中（宿舎でも生活も含む）は、健康管理について十分に配慮すること。  
（重大事案が発生した場合は、大会本部に速やかに報告すること）
- 不測の事態が発生した場合は、大会本部の指示に従うこと。
- カメラマン（チーム随行カメラマン）について
  - ・受付を通ったカメラマンについて、撮影許可のビブスを着用して許されたエリアで（防球ネットの外側）から撮影を行うこと。  
\*ケガは自己責任で、またアンパイアーの指示には必ず従うこと。
- ベンチ内での撮影について
  - ・ベンチに入ることが許される者が、ベンチ内（テント内）で、競技に支障を与えることなく撮影することは許可するが（カメラ・ビデオともOK）、テクニカルテーブルからの指示には速やかに従うこと。